

# 平成29年度北海道虻田高等学校 学校関係者評価書

[ 学校関係者評価：学校評議員及びPTA役員 ]

## 学校教育目標

- 1 知性を高め、自ら学ぶ力を育てる。
- 2 情操を豊かにし、思いやりの心を育てる。
- 3 心身ともに鍛え、実践する力を育てる。

## 重点目標

目標に向かって、心豊かに、ともに支え合い、たくましく、主体的に行動できる生徒を育てる。

- (1) 個性と創造性を伸ばすとともに、自ら学ぶ心を持った生徒を育てる。
- (2) 礼儀正しい生活習慣の定着とともに、奉仕の心を持った生徒を育てる。
- (3) 社会の変化に主体的に対応し、自己実現を図る意欲と能力を育てるとともに、自立の精神に溢れ、社会的責任を果たす心を持った生徒を育てる。
- (4) 何事にも積極的に参加し、困難に打ち克つ健康な身体と生命を尊ぶ心を持った生徒を育てる。

## 自己評価

自己評価の評価基準 A：そう思う B：どちらかといえばそう思う  
C：どちらかといえばそう思わない D：そう思わない

## ①学校経営

※数字は(%)で表示(以下同じ)

領域	評価項目	A	B	C	D	改善策
学校経営	学校教育目標は生徒の実態や保護者、地域住民の願いを反映させている	15%	46%	38%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校日より(全10回)の内容を充実させる。</li> <li>・PTA日より(全3回)で生徒の声、親の声を入れるなど内容の充実を図る。</li> <li>・学校ホームページの更新の頻度を上げる。</li> <li>・朝の職員打合せの有効活用。</li> </ul>
	学校の教育方針や教育活動について、保護者や地域住民へ積極的に情報提供している	23%	38%	38%	0%	
	全ての教員が共通理解に基づき協力して教育活動を進めている	15%	31%	54%	0%	

## 学校関係者評価

学校関係者評価基準→ [ 4：たいへんよい 3：よい 2：やや不十分 1：不十分 ]

※4段階の評価で①～⑥までの評価とご意見の記入をお願いいたします。

## ①学校経営

自己評価の適切さ	3.5	<b>学校関係者評価者の意見</b> ・学校経営に苦勞されているのがわかる。評価している。 ・学校日より等のお便りが保護者に渡らない傾向にある。その改善策を考えるべきである。 ・生徒数の減少を教職員の共通課題とし、生徒募集についてのアイデアや学校が存続していくための方策を考えて欲しい。
改善策の適切さ	3.3	

## ②教育課程

領域	評価項目	A	B	C	D	改善策
教育課程	基礎基本の定着を図るために適切な指導を行っている	46%	54%	0%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部試験を活用し、学習指導に反映させたい。</li> <li>・遊覧船ガイドを中心とした地域学習を継続発展させるため、運輸局や町、観光協会等との連携協議を持つ。</li> <li>・主体的対話的で深い学びを通して授業改善を図る校内研修等の充実を図る。</li> <li>・スマートフォンの使用制限により家庭学習の時間を確保したい。</li> </ul>
	商業に関する学科の特色を活かした教育課程の編成に努めている	46%	46%	8%	0%	
	生徒個々の学習状況に配慮し、わかる授業の実施に努めている	38%	54%	8%	0%	
	シラバス等を活用しながら教科指導目標を明確にし学習指導法や評価法等の研修に努めている	15%	54%	31%	0%	

## ②教育課程

自己評価の適切さ	3.5	<b>学校関係者評価者の意見</b> ・学力向上のため、生徒のやる気を引き出す取組が、さらに必要である。 ・授業参観をして、生徒の学力差が大きく、従来の一斉授業が難しくなってきたと感じた。 ・スマートフォンの利用について、悪影響だけではなく、有効活用についても検討してはどうか。
改善策の適切さ	3.3	

③研修

領域	評価項目	A	B	C	D	改善策
研修	校内研修は充分に実施している	31 %	46 %	23 %	0 %	各教科で新学習指導要領に向けた研修会への参加を図る。
	校内で情報の共有を積極的に実施している	31 %	46 %	8 %	15 %	

③研修

自己評価の適切さ	3.3
改善策の適切さ	3.8

学校関係評価者の意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワールドカフェ方式でアクティブ・ラーニングの校内研修や、スクールカウンセラーを講師としたいじめ防止の研修、地域キャンパス・センター校連携による遠隔システムを活用した研修など、よくやっている。</li> <li>・遠隔システムを活用した授業や研修を地域センター校だけに留まらず、広く活用して欲しい。</li> </ul>
------------	---

④生徒指導

領域	評価項目	A	B	C	D	改善策
生徒指導	いじめ防止に向けた取組や発生時の対応が適切に行われている。	31 %	69 %	0 %	0 %	生徒が相談しやすいように、教育相談週間における相談方法の工夫、改善を図る。
	生徒の服装、頭髪などに対して適切な指導を行っている	31 %	54 %	15 %	0 %	
	生徒に基本的な生活習慣が身に付くように適切な指導を行っている	31 %	69 %	0 %	0 %	
	生徒指導にあたり十分に保護者と連携をとっている	23 %	62 %	15 %	0 %	
	生徒の様々な悩みに対応した適切な指導を行い、親身になって教育相談を行っている	46 %	54 %	0 %	0 %	

④生徒指導

自己評価の適切さ	3.3
改善策の適切さ	3.3

学校関係評価者の意見	・生徒が、率直に相談ができる環境を整えていただきたい。
------------	-----------------------------

⑤進路指導

領域	評価項目	A	B	C	D	改善策
進路指導	3カ年を見通した系統的・計画的な進路指導を行っている	46 %	46 %	8 %	0 %	本校を会場とする各種進路説明会の見直しを図るとともに、積極的に外部の説明会への参加を検討する。
	進路実現のため生徒や保護者との面談等を充分に行っている	31 %	69 %	0 %	0 %	
	進路に関する情報や資料等が効果的に活用されている	31 %	69 %	0 %	0 %	

⑤進路指導

自己評価の適切さ	4.0
改善策の適切さ	4.0

学校関係評価者の意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・12月中に、3年生全員が進路決定できてよかった。資格取得の効果もあると思う。</li> <li>・大学進学にも対応していることなど、地域の方に本校の良さを分かってもらう必要がある。</li> </ul>
------------	---

⑥特別活動

領域	評価項目	A	B	C	D	改善策
特別活動	生徒はボランティア活動に積極的に参加している	31%	46%	23%	0%	生徒数の減少に応じて、学校行事や生徒会活動について、見直しを行い、継続して活動できるようにしていく。
	生徒は学校行事や生徒会活動に積極的に参加し、充実した学校生活になっている	23%	62%	15%	0%	
	モラルについて考えさせたり、社会のルールについて学ぶ機会を適切に設けている	31%	46%	23%	0%	
健康安全	健康管理や安全指導を適切に行っている	31%	54%	15%	0%	講演会の実施に関して、目的を明確にし、講演内容等を検討する。
	生徒は交通安全に心がけ、交通ルールを守って登下校している	31%	54%	15%	0%	
	心や身体の悩みについて相談しやすい環境をつくっている	38%	46%	15%	0%	
その他	施設や設備は充実している	31%	54%	15%	0%	授業をはじめ、商業科の検定試験指導等を中心に実施している補習や講習を機会として、課題等により生徒の家庭学習定着を図る。
	家庭との連携を積極的に行っている	31%	54%	15%	0%	
	生徒が家庭学習に取り組むような工夫をしている	23%	54%	23%	0%	

⑥特別活動

自己評価の適切さ	3.3
改善策の適切さ	3.3

学校関係評価者の意見	・部活動の活性化が必要である。
------------	-----------------